



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月7日
東

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	15,717	34.3	△86	—	41	—	△12	—
2023年12月期第3四半期	11,701	9.5	△194	—	△139	—	△186	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △19百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 △122百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△1.46	—
2023年12月期第3四半期	△21.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	6,622	1,130	15.7
2023年12月期	6,706	1,187	16.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,036百万円 2023年12月期 1,099百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	25.9	△70	—	45	—	280	—	32.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 3 Q	8,874,400株	2023年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3 Q	205,838株	2023年12月期	205,838株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 3 Q	8,668,562株	2023年12月期 3 Q	8,668,562株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社または各社等の登録商標または商標です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第3四半期連結累計期間の概況>

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、日銀のマイナス金利解除や円安進行、原材料価格の高騰の影響で景気が下押される一方で、インバウンド需要や賃上げによる所得環境の改善等により景気回復を期待させる要素があります。しかし、物価上昇や円安の継続、地政学リスクの高まり等、景気回復を阻むリスクも存在し、依然として先行きは不透明です。

情報サービス産業においては、企業の生産性向上や競争力強化のためDX関連への投資意欲は引き続き高い状況にあり、ビジネス構造改革に向けたシステム刷新やクラウド対応等、デジタル化に関連する投資が今後も堅調に推移することが期待されています。

このような状況において当社グループは、引き続き事業構造改革を進めつつ、SaaS(*1)・サブスク(*2)事業の拡大に加えて新規事業領域への取り組みを強化してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① オープンシステム基盤事業

Red Hat Enterprise Linux(*3)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(*4)は、当第1四半期・第2四半期に受注した大型案件により大幅な増収となったものの、当該案件は売上総利益率の低い案件であったため、利益への影響は軽微でした。一方、主力自社製品である「LifeKeeper」(*5)は、国内におけるライセンス販売が増加し、堅調な増収となりました。これらにより、売上高は11,244百万円（前年同期比56.9%増）、セグメント利益は108百万円（前年同期比73.0%増）となりました。

② アプリケーション事業

API(*6)ソリューション事業は、API領域に特化した高い技術力により活況な市場の需要を獲得し、好調な増収となりました。また、「Gluegentシリーズ」(*7)は順調な増収、MFP向けソフトウェア(*8)製品は堅調な増収となりました。金融機関向け及び文教向けのシステム開発・構築支援、金融機関向け経営支援システム販売は減収となりました。これらにより、売上高は4,471百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

利益面では、研究開発費の選択と集中を図ったことにより前年同期比で改善し、セグメント損失は196百万円（前年同期は266百万円の損失）となりました

これらの結果、当第3四半期連結累計期間においては、前述したRed Hat, Inc. 関連商品の大幅な増収により売上高は15,717百万円（前年同期比34.3%増）、営業損失は86百万円（前年同期は194百万円の損失）、デリバティブ評価益及び持分法による投資利益の計上により経常利益は41百万円（前年同期は139百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は12百万円（前年同期は186百万円の損失）となりました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本+有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：△47百万円（前年同期は△147百万円）

ROIC（年率換算数値）：△6.1%（前年同期は△14.0%）

(*1) SaaS

Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること。

(*2) サブスク

サブスクリプションの略。ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。

(*3) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(*4) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

(*5) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*6) API

ソフトウェアやアプリケーション同士が互いに情報をやり取りするための仕組み。

(*7) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*8) MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少427百万円等の要因により、5,622百万円（前連結会計年度末比2.1%減）となりました。

固定資産は、ソフトウェア仮勘定の増加60百万円等の要因により、999百万円（同3.5%増）となりました。

この結果、総資産は、6,622百万円（同1.3%減）となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の減少189百万円等の要因により、5,080百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加30百万円等の要因により、411百万円（同5.9%増）となりました。

この結果、負債合計は、5,492百万円（同0.5%減）となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金の減少55百万円等の要因により、1,130百万円（前連結会計年度末比4.9%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年8月8日に公表した2024年12月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2024年11月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,604,002	2,942,516
受取手形、売掛金及び契約資産	2,433,031	2,006,028
仕掛品	2,267	3,733
前渡金	532,496	459,238
その他	169,429	211,017
貸倒引当金	△200	—
流動資産合計	5,741,026	5,622,535
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	42,149	38,020
その他（純額）	90,672	81,681
有形固定資産合計	132,822	119,701
無形固定資産		
ソフトウェア	36,780	19,993
ソフトウェア仮勘定	34,332	95,218
その他	1,441	1,441
無形固定資産合計	72,554	116,654
投資その他の資産		
投資有価証券	407,162	411,680
退職給付に係る資産	57,004	59,150
差入保証金	119,273	115,493
その他	176,736	176,985
投資その他の資産合計	760,177	763,309
固定資産合計	965,554	999,665
資産合計	6,706,581	6,622,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,235,031	1,045,431
1年内返済予定の長期借入金	66,000	66,000
リース債務	59,039	21,901
未払法人税等	30,509	54,816
契約負債	3,212,077	3,485,248
役員賞与引当金	—	10,600
その他	527,833	396,817
流動負債合計	5,130,492	5,080,816
固定負債		
長期借入金	49,500	—
退職給付に係る負債	320,317	350,492
リース債務	6,676	32,204
長期預り金	11,632	11,632
役員株式給付引当金	—	16,700
その他	—	178
固定負債合計	388,127	411,208
負債合計	5,518,619	5,492,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	△236,541	△292,508
自己株式	△87,254	△87,254
株主資本合計	1,157,723	1,101,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,796	△1,605
繰延ヘッジ損益	187	△1,805
為替換算調整勘定	△68,280	△61,377
その他の包括利益累計額合計	△58,296	△64,788
新株予約権	88,534	93,207
純資産合計	1,187,961	1,130,175
負債純資産合計	6,706,581	6,622,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	11,701,456	15,717,350
売上原価	7,788,206	11,771,573
売上総利益	3,913,250	3,945,777
販売費及び一般管理費	4,107,411	4,032,267
営業損失(△)	△194,161	△86,490
営業外収益		
受取利息	10,301	18,627
為替差益	—	30,838
デリバティブ評価益	56,898	21,647
持分法による投資利益	43,025	46,661
その他	5,915	13,430
営業外収益合計	116,141	131,204
営業外費用		
支払利息	747	713
投資事業組合運用損	5,601	—
為替差損	53,161	—
外国源泉税	—	2,127
その他	1,639	190
営業外費用合計	61,149	3,031
経常利益又は経常損失(△)	△139,170	41,682
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23,623
固定資産売却益	90	—
特別利益合計	90	23,623
特別損失		
関係会社株式評価損	10,435	—
減損損失	30,201	—
固定資産除却損	123	56
事業譲渡損失	27,933	—
特別損失合計	68,693	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△207,773	65,249
法人税、住民税及び事業税	15,741	67,750
法人税等調整額	△37,266	10,178
法人税等合計	△21,525	77,929
四半期純損失(△)	△186,247	△12,679
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△186,247	△12,679

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△186,247	△12,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,428	△11,402
繰延ヘッジ損益	—	△1,992
為替換算調整勘定	48,498	△3,086
持分法適用会社に対する持分相当額	1,722	9,989
その他の包括利益合計	63,649	△6,492
四半期包括利益	△122,598	△19,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△122,598	△19,171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	46,811千円	38,551千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,165,126	4,526,880	11,692,006	9,450	11,701,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,359	4,359	△4,359	—
計	7,165,126	4,531,239	11,696,365	5,090	11,701,456
セグメント利益又は損失 (△)	62,471	△266,082	△203,611	9,450	△194,161

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
11,079,313	413,590	133,142	75,410	11,701,456

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「アプリケーション事業」セグメントにおいて30,201千円の固定資産の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,244,424	4,471,476	15,715,900	1,450	15,717,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,577	3,577	△3,577	—
計	11,244,424	4,475,053	15,719,477	△2,127	15,717,350
セグメント利益又は損失 (△)	108,068	△196,009	△87,940	1,450	△86,490

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
15,123,788	345,497	158,772	89,292	15,717,350

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
収益認識の時期					
一時点で移転される財又はサービス	5,352,805	551,679	5,904,485	—	5,904,485
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,812,320	3,975,200	5,787,521	9,450	5,796,971
顧客との契約から生じる収益	7,165,126	4,526,880	11,692,006	9,450	11,701,456
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,165,126	4,526,880	11,692,006	9,450	11,701,456

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託収入等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
収益認識の時期					
一時点で移転される財又はサービス	9,261,027	655,674	9,916,702	—	9,916,702
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,983,396	3,815,801	5,799,197	1,450	5,800,647
顧客との契約から生じる収益	11,244,424	4,471,476	15,715,900	1,450	15,717,350
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,244,424	4,471,476	15,715,900	1,450	15,717,350

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託収入等であります。

(重要な後発事象)

(連結子会社における会社分割(吸収分割)および孫会社株式の譲渡)

当社は、2024年10月4日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるサイオステクノロジー株式会社(以下「STI」)の金融機関向け経営支援システム販売事業(以下「PC事業」)を吸収分割(以下「本件会社分割」)により当社の孫会社であるプロフィットキューブ株式会社(以下「PCI」)に承継させた上で、PCI株式の全てを住信SBIネット銀行株式会社(以下「住信SBIネット銀行」)に譲渡(以下「本件株式譲渡」、本件会社分割と併せて以下「本件取引」)することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 会社分割及び株式譲渡による事業分離の概要

(1) 会社分割による事業分離先企業(承継会社)の名称及び株式譲渡先企業の名称

①会社分割による事業分離先企業(承継会社)の名称

プロフィットキューブ株式会社

②株式譲渡先企業の名称

住信SBIネット銀行株式会社

(2) 分離した事業の内容

金融機関向け経営支援システムの開発・販売・保守

(3) 事業分離を行った主な理由

当社グループは、2015年にProfit Cube株式会社を買収(2021年4月にSTIに吸収合併)して以降、PC事業を展開してまいりました。

一方、コロナ禍を経て金融機関を取り巻く事業環境が大きく変化したことから、PC事業の戦略について再構築する必要があると考え、様々な方策を検討してまいりました。また、当社グループは従前より、事業の選択と集中を図るべく、SaaS・サブスク事業及び生成AIへの投資を強化してまいりました。

このような状況の中で慎重に精査を進めた結果、PC事業をPCIに承継させたいと、PCI株式の全てを住信SBIネット銀行に譲渡することが最適との結論に至り、本件取引を行うことを決定いたしました。本件取引はPC事業のさらなる成長・発展につながるものと考えています。

(4) 事業分離日

①会社分割実行日

2024年12月2日(予定)

②株式譲渡実行日

2024年12月2日(予定)

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

①会社分割

STIを分割会社、PCIを承継会社とする吸収分割です。本件会社分割に際して、PCIは普通株式を1,980株発行し、その全てをSTIに交付いたします。STIは、本件株式譲渡の実行予定日をもって、PCIの全株式を住信SBIネット銀行に譲渡する予定です。

②株式譲渡

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

(6) 譲渡前後の議決権所有割合、譲渡株式数、譲渡価額及び売却損益の概要(予定)

譲渡前の所有株式数	2,000株(議決権所有割合100%)
譲渡株式数	2,000株(議決権所有割合100%)
譲渡後の所有株式数	0株(議決権所有割合0%)
本件株式譲渡の価格	500百万円 ※譲渡に関するアドバイザー費用等は発生していません。
売却損益	445百万円

2. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

アプリケーション事業